

「夢はでっかく」

「あなたの夢は何ですか？」と聞かれたら、迷わず「大工さん」と答えていました。そんな私の夢は、いろいろな経験や出会いによって変わっていき、現在に至っています。

子どもたちにも、「あなたの夢は何ですか？」と尋ねられたら、自信をもって答えることができる人になってほしいなあと思っています。

そこで、昨年度に引き続き、全校児童46名に自分の夢を書いてもらいました。せっかくなので、昨年度の夢と比較してみました。2年生以上で、昨年と同じ夢を書いている子どもは、36名中10名でした。よほど、強い憧れがあって、絶対にそうなりたいと心に決めているのでしょう。

あとの26名の子どもは、新しい夢を見つけました。まったく違う分野の仕事を選んだ子どももたくさんいました。この1年間で見たとこと・聞いたこと・感じたこと・考えたことなどによって、夢が変わったのだらうと思います。



同じ夢を書いた人、新しい夢を書いた人、それぞれが自分にぴったりの夢を自分で見つけ、それをしっかり意識できていることを、とても嬉しく思っています。これからも、いろいろな経験とたくさんのお出会いによって、夢も変わっていくのかもしれませんが、子どもたちには、「大きな夢を持って、自分らしくたくましく生きていける人」になってほしいと願っています。

子どもたちの書いた「夢カード」は、職員玄関の掲示板に貼っています。学校に来られたときには、是非見ていただき、時には「夢」について、家族で語り合ってはどうか。

いよいよ本番！

高比良先生の指導で「新富江音頭」の練習。老人会のみな様にもたくさん参加していただきました。

6月2日(日) 子どもたちが楽しみにしている運動会です。ゴールデンウィーク後から、本格的に練習が始まり、5月とは思えない暑さのなかで、毎日しっかり練習を積み重ねてきました。本番が近づくとつれ、子どもたちの練習にも熱が入り、「やる気満々」です。

先日の昼休み、応援練習が終わって帰ってくる子どもが、ニコニコしながら話しかけてきました。

「校長先生 のどが痛いです！」

応援の練習で、大きな声を出し続けていたので、喉が痛くなったというのです。痛みはあるものの、本人はとても満足していて、最高の笑顔を見せてくれました。

この運動会を通して育成する資質・能力は、「努力」「協働」「感謝」です。子どもたちの練習の様子を見ながら、「根っこ(資質・能力)が、どんどん深くなっている。」と感じています。

運動会当日は、一回り成長した子どもたちの姿を見ることができると思います。子どもと一緒に運動会を楽しみ、みなさんの力で今年の運動会も大いに盛り上げてほしいと思っています。

